

受領 令和5年3月3日 9時07分

通告番号(4)1/3

令和5年3月3日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
長 濱 宗 則 印

一般質問通告書

第524回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質問要旨	答弁を求める者
<p>1 交通安全対策から</p> <p>(1) 伊良皆 355-5 番地から伊良皆 358-5 番までの約 100m 前後の道路は古堅中学校、読谷高校への通学路として利用されております。しかし、通学時間 7:30-8:15 帯の車の往来が多く片側歩道で狭く危険である。通学時間帯を一方通行できないか。</p> <p>(2) 県道 6 号線との接続部分は高低差があり 6 号線に進入の際、左側に駐車があると右折はかなり困難であるので駐車禁止できないか。</p> <p>(3) 大木 78 番地から村道南線への T 型道路一時ストップ線が消えている。白線引きができないか。</p>	
<p>2 めざせ!健康ゆんたんざから</p> <p>令和2年度、沖縄県民の平均寿命の都道府県別の順位は女性が7位から16位に、男性が36位から43位に後退したことが厚生労働省の調査で判明した。沖縄県の平均寿命は、女性が87.88歳 男性が80.73歳。1985年まで男女とも平均寿命は全国一位であった。</p> <p>(1) 読谷村の過去5年分の特定健診率と各自治会別の健診率を問う。</p> <p>(2) 読谷村の集団検診と個人検診の比率。土、日とナイト健診率は。</p> <p>(3) 健康相談の過去5年度実績は。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>(4) 受診率が伸びない要因は。</p> <p>(5) 受診率を高めるために取り組んでいる対策は。</p>	
<p>3 窓口業務の民間委託について</p> <p>読谷村の地域性や独自性を発揮しながら、多様な村民ニーズに応え、より高いサービスを提供していくためには、今までの横並び的発想から脱却する必要があると考える。他の市町村との横並びだけでなく、一つのサービスを住民に提供する場合でも、画一的なサービスでなく、行政として公平性を確保しつつ、可能な限りそれぞれに応じたサービスの提供が住民の満足になると考える。厳しい財政状況が予想される中、検討する時期ではないか。</p> <p>(1) 読谷村としての考えを問う。</p> <p>(2) 窓口の民間委託についてメリット、デメリットは。</p> <p>(3) 県内で窓口委託導入している自治体を把握しているか。</p>	
<p>4 大木南土地整理組合事業から</p> <p>令和3年組合設立許可を得て同年5月に第1回総会を開催して、執行体制を整えて事業に着手、5年度は組合発注の造成工事、読谷村が発注する上下水道整備工事同時に進めていき令和6年6月に使用収益を開始予定しております。</p> <p>(1) 換地計画にあたり大木、大湾の字界の考えを問う。</p> <p>(2) 古堅小学校、古堅南小学校への通学区域はどうなるか伺う。</p> <p>(3) 比謝大断線の今後のスケジュールは。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>5 泊城公園に遊具の設置について</p> <p>南部区に大型遊具の設置は首を長くしていた案件です。きっとコロナ禍で思い切り遊べなかった子どもたちの歓声が聞こえるようです、笑顔に会える。</p> <p>(1) 予算規模と遊具の種類を問う。</p> <p>(2) 遊具規模は残波岬公園、セーラー苑公園規模になるのか。</p> <p>(3) 誰でもが一緒に遊べるインクルーシブ公園の考えは。</p>	
<p>6 読谷村の観光振興から</p> <p>コロナ禍で落ち込んだ観光需要、関係産業、団体は厳しい時期を耐え抜き、回復の兆しがみえて参りましたが、立て直しには行政、観光協会、商工会等の連携強化が求められる。</p> <p>(1) 新たな読谷型観光の推進の取り組みを伺う。</p> <p>(2) 読谷型観光を担う観光協会の組織強化、支援策は。</p> <p>(3) 商工、農業、漁業、が横断的に関係強化しビジョンを構築し行動すべきだと思いが村の考えは。</p>	